



山野議員

Q LED（発光ダイオード）の照明灯を町内の防犯灯に

A 引き続きLED防犯灯への移行を推進していきたい（立花民生部長）

A 自治会管理の防犯灯のうち、約1千700灯が従来の蛍光灯。設置後の電気料金は、従来の約45%減と見込む。全ての切りかえを行った場合、総事業費は5千400万円、年間約160万円の経費削減及び、CO2の削減が見込まれる。
来年度は環境省のニューデール事業にLED防犯灯への切りかえを約500灯申請する予定で、各自治会に整備するよう計画している。引き続きLED防犯灯への移行を推進したい。

Q LED照明灯は消費電力も少なく、明るく寿命は長いが、初期の設備投資は高いと聞く。設置後の維持管理を考えると、費用差はどうか。町内の防犯灯を全部取りかえた場合の費用はどうか。
LED照明灯は消費電力も少なく、明るく寿命は長い。初期の設備投資は高いと聞く。設置後の維持管理を考えると、費用差はどうか。町内の防犯灯を全部取りかえた場合の費用はどうか。

Q 高齢社会「買い物弱者」の取り組み

A 次期介護保険事業計画策定の中で提起したい（光本福祉課長）

A 地域商店の閉店などにより、最寄りのスーパーまで1キロ以上歩くような買い物弱者の問題が全国的に発生しているが、町内においては、ヘルパーによる買い物サービスや弁当業者による配食サービス、近所同士の助け合いなどを活用して生活している実情もある。
来年度取り組みの次期介護保険事業計画策定の中で、買い物弱者の実態調査も視野に入れたアンケート調査を実施するとともに、交通弱者を対象とした新しい交通手段の検討を現在行っている。

福垣内議員

Q 高齢者を中心に、日常の買い物が困難な買い物弱者が、全国に600万人に上がると言われている。まちづくりの取り組みに、買い物弱者対策を加えてはどうか。
高齢者を中心に、日常の買い物が困難な買い物弱者が、全国に600万人に上がると言われている。まちづくりの取り組みに、買い物弱者対策を加えてはどうか。

白築議員

Q 高齢者対策について

A 地域で安心して暮らしていくための様々な事業に取り組んでいる（光本福祉課長）

A 長年、社会の発展に寄与されてきた高齢者が、住みなれた地域で安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めていくことは、行政の責務であると認識している。
高齢者の所在の確認はもとより、地域で安心して暮らしていくための取り組みとして、ひとり暮らし高齢者巡回相談事業や、ふれあいサロン事業のミニデイホームを社会福祉協議会と連携して実施している。また、認知症対策にも引き続き取り組んでいく。

Q 戸籍上は生存するが住所不明の100歳以上の方が、熊野町で62人いると聞いた。所在確認にとどめず、高齢者が住みなれた土地で生きていけるように、自治体の責任を果たすべきではないか。
戸籍上は生存するが住所不明の100歳以上の方が、熊野町で62人いると聞いた。所在確認にとどめず、高齢者が住みなれた土地で生きていけるように、自治体の責任を果たすべきではないか。



馬上議員

Q 乗継駐車場の存続について

A 広島県に対して存続の要望を続けていきたい（森本建設課長）



▲現在でも多くの方が利用する乗継駐車場

A 現在も県と地権者との間で賃貸契約が交わされ、契約期間は平成24年3月31日までとなっている。県に対し存続の要望を続けていきたい。
放置車両については県が対応し、今年度1台の撤去を行っている。また、車上荒らしの対策については、夜間照明を常時点灯することで防犯に努めている。防犯カメラの設置は、県から難しいとの回答であったため、海田警察署に場内巡回を依頼している。

Q 土地の契約が終われば、駐車場が閉鎖されるのではないかと、また、駐車場内での放置車両、車上荒らし等の苦情を多く聞くが、どのような対処をしているか。防犯カメラの設置はどうか。
土地の契約が終われば、駐車場が閉鎖されるのではないかと、また、駐車場内での放置車両、車上荒らし等の苦情を多く聞くが、どのような対処をしているか。防犯カメラの設置はどうか。

Q 広島熊野道路料金値下げについて



▲10年後に無料開放の予定である広島熊野道路

A 県道路公社、県の幹部の方とも話し合いながら考えていきたい（三村町長）



藤本議員

A どういった方向をとるかは、住民へのアンケートも考えている。県道路公社、県の幹部の方とも話し合いながら考えていきたい。

Q 無料化されたクレアラインは、朝夕の渋滞が報じられている。仮に10年後に無料になった場合、トンネルに向かう町道の交通量が増加すると考えられる。半額として期間が延びても、通過交通の車が町道で事故を起こすよりは良いのでは。町内の子どもの安全をどう考えるか。
無料化されたクレアラインは、朝夕の渋滞が報じられている。仮に10年後に無料になった場合、トンネルに向かう町道の交通量が増加すると考えられる。半額として期間が延びても、通過交通の車が町道で事故を起こすよりは良いのでは。町内の子どもの安全をどう考えるか。

A 広島熊野道路は、通行料金の収入により30年間で建設費を償還する計画。10年後には無料開放の予定であるが、利用者が減少しており、料金を下げた場合、無料開放時期に影響を及ぼすことも予想される。
引き続き慎重に検討し、関係機関に要望していきたい。

Q 県道路公社へ広島熊野道路の通行料金の値下げを交渉し、町民の家計の負担軽減に寄与する考えはないか。
県道路公社へ広島熊野道路の通行料金の値下げを交渉し、町民の家計の負担軽減に寄与する考えはないか。